



千歳壽一教授近影（1999年1月13日 大学院「発達社会科学論」での講義）

千歳壽一教授略歴

学 歴

- 昭和27(1952)年 東京都立両国高校卒業
昭和28(1953)年 東京大学教養学部入学
昭和32(1957)年 東京大学理学部地学科地理卒業
昭和40(1965)年 マサチューセッツ工科大学建築学部都市計画学科大学院専攻生

資 格

- 昭和33(1958)年 測量士補
昭和44(1969)年 技術士(都市及び地方計画)試験合格
平成3(1991)年 理学博士(東京都立大学理学部)

職 歴

- 昭和32(1957)年 東京都庁建設局都市計画部に勤務(平成3年まで東京都庁)
昭和42(1967)年 首都整備局都市計画第一部南多摩新都市計画課計画第二係長
昭和44(1969)年 同局同部開発企画課主査
昭和45(1970)年 同局計画部首都圏整備課主査
昭和46(1971)年 港区役所派遣 総務部電子計算課長
昭和49(1974)年 東京都職員研修所専任講師
昭和52(1977)年 総務局総務部電子計算課副主幹
昭和55(1980)年 企画報道室計画部副主幹
昭和56(1981)年 企画報道室調査部副参事
昭和57(1982)年 都市計画局総合計画部企画調査課長
平成2(1990)年 職員研修所調査研究室統括課長調査研究担当課長 兼 専任講師
平成3(1991)年 お茶の水女子大学文教育学部地理学科助教授
平成4(1992)年 お茶の水女子大学文教育学部地理学科教授
平成7(1995)年 お茶の水女子大学大学院人間文化研究科教授を兼任

学会活動(主なもの)

- 昭和58(1983)年 環境情報科学センター評議委員(平成4年度まで)
平成元(1988)年 日本都市情報学会理事(平成5年まで)
平成5(1993)年 日本国際地図学会評議委員(現在に至る)
環境情報科学センター理事(現在に至る)
日本都市情報学会常任理事(平成8年まで)
平成8(1996)年 日本地理学会国立地図学博物館設立推進委員長(現在に至る)
日本社会情報学会理事(現在に至る)
平成9(1997)年 日本国際地図学会常任委員(平成10年度まで)

審議会(主なもの)

- 平成4(1992)年 東京都新宿区都市計画審議会委員(現在に至る)

主な研究業績

著書

1. 『国民生活と国土の未来像』（共著），鹿島出版会，1972.
2. 『現代日本の都市化』（共著），古今書院，1979.
3. 『土地利用変化とその問題』（共著），大明堂，1992.
4. 『都市整備入門』，古今書院，1994.
5. 『現代日本の地域変化』（共編著），1997.

学術論文

1. 「都市構造の都市計画的検討」（共著）. 都市計画別冊4，pp. 25-32，1969.
2. 「東京の都心及びその周辺部の土地利用構成」（共著）. 都市計画別冊5，pp. 92-95，1970.
3. 「大都市における業務機能の配置に関する研究—補助都心配置の可能性」（共著）. 都市計画69/70，pp. 7-27，1972.
4. 「土地利用計画の技法の課題」. 都市計画104，pp. 30-33，1978.
5. 「多地域計量モデルによる東京都区部の土地利用の分析について」. 地理学評論158，pp. 674-684，1985.
6. 「わが国の都市計画学における土地利用研究」. 地理学評論160，pp. 20-39，1987.
7. “Urban planning maps of Tokyo.” Urban Cartography 4，pp. 129-134，1987.
8. 「地域的集中総合指標からみた東京への集中」. 地学雑誌199，pp. 104-115，1990.
9. 「都市行政におけるメッシュマップの利用—東京都を例として」. 地学雑誌199，pp. 630-635，1990.
10. “Quantitative studies on urban space use using concentric and mesh systems.” 東京都立大学理学部学位論文，1991.
11. 「指標で示す地域の豊かさ」. お茶の水女子大学人文科学紀要148，pp. 87-98，1995.
12. 「都市景観に対する視覚的評価の定量的把握への試み」. お茶の水女子大学人文科学紀要150，pp. 95-119，1997.
13. 「都市における経済成長，住民満足等の検証と新たな都市指標開発の方向」. お茶の水女子大学人文科学紀要152，pp. 61-70，1999.

（一般雑誌掲載の多数論文，翻訳等は割愛した）